

令和6年度「和歌山県花を愛する県民の集い」功労者感謝状贈呈者一覧

(敬称略)

| 氏名・団体名 (代表者名) | 市町村名 | 主な功績 |
|-----------------------------|------|---|
| 馬場町コスモス会 (佐藤 サヨ子) | 海南市 | <p>海南市馬場町地区内にある道路沿いにおいて、4か所の花壇やプランターでベゴニア・マリーゴールドなどの四季折々の花を植栽することで、地域の住民の目を楽しませるなど、花の育成と環境美化に取り組んでいる。</p> <p>また、花づくりを通じて、地区のつながりをより一層深め、市民と市が一体となった地域活動により美しいまちづくりに多大な貢献をした。</p> |
| みどり会 (森 美津子) | 海南市 | <p>海南市日方地区の道路沿いの花壇において、マリーゴールドや紫陽花などの花の育成と地域の環境美化に取り組むとともに、地域住民及び道路通行者にくつろぎの場を提供するなど、市民と市の協働による美しいまちづくりに多大な貢献をした。</p> |
| 細野溪流キャンプ場 管理組合 (前田 力) | 紀の川市 | <p>環境美化活動を通して、細野地区の道路沿いにある花壇に四季折々の花を植え、地域コミュニティの推進と行き交う地域住民の目を楽しませることを目的に活動を行っている。花を植えている場所は、キャンプなどを目的に通る道路沿いであり、地域住民だけでなく地域外からそれらの施設に来られる方の心をも和ませるなど、地域の活性化や花のある豊かな環境づくりに多大な貢献をした。</p> |
| 松田 邦男 | 高野町 | <p>朝顔の緑のカーテンは、毎年春になると苗を植え、夏に向けてしっかり手入れすることで、朝顔が見事に咲き誇り、家の前に涼しげな緑のカーテンを作り出している。この緑のカーテンは、夏の暑さを和らげるだけでなく、目にも優しく地域の人々に癒やしを与えている。その美しさと地域の人々からの感謝の言葉が大きな励みとなり、地域の一部として愛される花いっぱい運動を継続するなど、花のある豊かな環境づくりに多大な貢献をした。</p> |
| 宗教法人 金剛三昧院 (久利 康暢) | 高野町 | <p>敷地内には、県の天然記念物に指定されている樹齢400年以上のシャクナゲがあり、毎年春になると、美しいピンク色の花を咲かせ、境内を華やかな雰囲気包んでいる。その壮麗さは訪れる参拝客や国内外の観光客を魅了し、安らぎと癒しを提供している。花を愛する人々にとって、この場所はまさに理想的な癒しの空間となっている。長年にわたり、その美しさを保ちながら、多くの人々に愛され地域の一部として愛される花いっぱい運動を通じて、花のある豊かな環境づくりに多大な貢献をした。</p> |

| | | |
|-------------------------------|-------------|---|
| <p>高野町立高野山小学校 (岡本 浩二)</p> | <p>高野町</p> | <p>高野町立高野山小学校は、日々の教育活動を通じて自然環境保全の重要性を児童に伝えている。2年生が1年生にチューリップの球根の植え方を教え新入生が入学する頃には、ピンク・白・黄色の美しいチューリップが咲き誇り、新1年生だけでなく多くの人々を楽しませている。花を見ることで、児童たちの間には友達の輪が広がり、みんなが仲良くなる素晴らしい効果があり学校全体の団結力を高め、地域社会にも良い影響を与えるなど、花のある豊かな環境づくりに多大な貢献をした。</p> |
| <p>立戸花と仲間 (小川 ミナ子)</p> | <p>田辺市</p> | <p>町内有志のグループが、町内のメインストリートに面した空き地を借りて、大きな花壇が作られた。毎月第3日曜日には会員が集まり、花壇の手入れを行っている。個々の活動としては、日々、手入れを行い、花壇を整備してきた。町内交流の場としてだけでなく、誰にでも気軽に声をかけ合える雰囲気づくりにも役立っている。また、地元町内会が、停電時の対策として、避難経路にソーラーライトを付けたプランターを置く取組や、そのプランター作りにも協力するなど、地域づくりの活性化や環境美化に多大な貢献をした。</p> |
| <p>古尾花を愛する会 (岡田 保穂)</p> | <p>田辺市</p> | <p>地元の方が空き地を無償で提供してくださり、清掃、整備をしてできた花壇のお世話をすることをきっかけに発足し、現在、その場所は、「古尾フラワーライン」と呼ばれ、道行く人の癒しとなっている。春と年末には、花まつりを行い、地域の憩いの場となるなど、地域づくりや環境美化に多大な貢献をした。</p> |
| <p>楠本 美華</p> | <p>田辺市</p> | <p>県道29号線奇絶峡付近は、春先には桜、その後5月には新緑が道行く人を楽しませ、6月には多種多様な彩りを演出する紫陽花が咲き乱れ、多くの人々の目をひいている。その紫陽花のお世話をボランティアで、剪定や施肥、除草など愛情を込めて約10年間にわたり維持管理している。地域の環境美化はもとより、吉野熊野国立公園、ひいては和歌山県のイメージの向上に多大な貢献をした。</p> |
| <p>小川お花畑ぐるーぷ (久保 由美子)</p> | <p>古座川町</p> | <p>長年放置されていた休耕田を整備し、ネモフィラ・ヒマワリ・コスモスを中心とした季節の花を植え、花のある豊かな環境づくりに多大な貢献をした。また、地域の子ども達と一緒に種蒔きを行ったり、花畑で多世代の交流の場となるイベントを行ったりするなど、公共の福祉の増進にも寄与した。</p> |